

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

1. 推進事業

事業費（要望額）	5,065,000円（うち交付金 5,065,000円）	都道府県名	山形県			
		事業実施年度	平成22年度			
現状と課題（※計画地区等における現状を踏まえて、課題を数値等も交えて具体的に記述すること。）						
<p>（新規就農者の育成・確保） 新規学卒就農者だけでなく、Uターン就農者、非農家出身者、団塊の世代、定年帰農の新規就農希望者や、他産業に従事しながら就農を希望する若者等が増加していることから、就農に向けた必要な知識と基礎的な技術等を体系的に習得する研修機会を設ける必要がある。</p>						
課題を解決するため対応方針（※上記の課題に対応させて記述すること。）						
<p>（新規就農者の育成・確保） 農業大学校における新規就農に係る総合的な研修体系を整備し、団塊の世代、定年帰農や多様な就農希望者を受け入れ、農業大学校での研修と農業の優れた実践を行っている農家等における実践研修を組み合わせた職業訓練的研究機会を提供する。また、離職後の就農研修だけでなく、他産業に従事しながら農業を志す人々や第二の人生としての農業を希望する者を対象に、農業の基本について学ぶ夜間の研修機会を設ける。</p>						
都道府県における目標関係					備考	
取組名	成果目標	事業実施後の状況				成果目標の具体的な実績
		計画時（平成21年度）	実施後（平成22年度）	目標（平成22年度）	達成率	
道府県農業大学校等再チャレンジ活用推進	就農者数の増加（引き続き高度な研修教育課程の受講者を含む）	従来の研修教育課程修了者の就農者数（40名） （平成22年3月末）	新規就農希望者を対象とした研修教育課程修了者の就農者数（引き続き高度な研修教育課程の受講者を含む）（67名） （平成23年3月末）	新規就農希望者を対象とした研修教育課程修了者の就農者数（引き続き高度な研修教育課程の受講者を含む）（45名） （平成23年3月末）	149%	新たな研修教育コース修了者における新規就農者数67人 $\times 100 = 149\%$ 目標とする新規就農者数45人
事業実施地区数						
総合所見						
1	○ 農業大学校における新規就農に係る総合的な研修体系の整備により、新規就農者の増加につながった（新規就農）。					